

「はじめての音楽実技」受講科目について

学期及び授業時間等

- ・前期 4月1日～9月30日（令和8年度前期：4月13日開始予定）
- ・後期 10月1日～3月31日（令和8年度後期：10月1日開始）
- ・授業時間

時 限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時 間	8:40 ～ 10:10	10:20 ～ 11:50	12:40 ～ 14:10	14:20 ～ 15:50	16:00 ～ 17:30

受講講義室

講義室は4月に改めてご案内します。なお、講義室は授業開始後、受講者数調整等の関係で変更になることがあります。教員の指示や、変更のお知らせ（掲示板等）にご注意ください。

パソコン・インターネット環境の準備

本学では、シラバスの閲覧、各種掲示板の確認、メディアを使用した授業の受講など、学習活動の様々な場面においてパソコンを使用します。そのため、本学ではノートパソコン等及びインターネット接続環境の確保を受講前に準備していただくことを推奨しています。

開講科目

各授業科目の開講学期、曜日時限、授業概要等は以下のとおりです。

なお、授業科目の詳しい内容は、4月1日以降の公開となりますので、別紙3（2025年度シラバス）により、授業の内容等を参考にしてください。（内容は変更になることがあります。）

4月に入りましたら、あらためて本学ホームページにて最新情報を確認してください。

シラバス（教育学部） <https://www.hirosaki-u.ac.jp/education/syllabus/>

授業科目名	独唱 I
開講学期	前期
曜日時限	月曜日, 7・8時限
担当教員(教員所属名)	杉原 かおり (教育学部)
必修/選択	必修
授業としての具体的到達目標	○学校教育の授業に必要な、癖のない自然で無理のない発声で歌うことができること ○歌唱の技術とは何かを考えることができること
授業の概要	ヴォカリッツィ（母音唱法）を通して発声の基礎の定着を図ります。発声の基盤となる呼吸、母音の響きの統一を重点に据え、息のレガートを習得します。
備考	

授業科目名	音楽科教育法 I
開講学期	前期
曜日時限	水曜日, 3・4 時限
担当教員 (教員所属名)	今田 匡彦 (教育学部)
必修/選択	必修
授業としての具体的到達目標	<p>一般目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽とは何か、何が音楽か、そのために音楽教育はどうあるべきかを自分の言葉で考え、実践できる能力を身につけること ○そのための基盤として学習指導要領に示された目標や内容を理解すること <p>到達目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領における音楽科の目標、内容を含む全体構造を理解していること ○音楽科の学習内容について指導上の留意点 (各領域、分野の関連性及び生徒の創意工夫等) を理解していること ○クリエイティビティとコミュニケーションを基盤とした音楽の学習評価の考え方を理解していること ○音楽科の背景となるさまざまな音楽教育思想を理解し、教材研究に活用することができること ○科学や他の芸術、環境と音楽科との繋がりを探求し、学習指導への位置付けを考察することができること
授業の概要	<p>1) サウンドスケープ思想を基盤として提唱されたサウンド・エデュケーションにより、原初の音楽と音楽教育の在り方を見通す。</p> <p>2) 創作を通して、表現・鑑賞領域の実践的融合方法を身に付け現在の音楽教育の諸問題を解決する。</p>
備考	

授業科目名	独奏および伴奏
開講学期	後期
曜日時限	木曜日, 5・6 時限
担当教員 (教員所属名)	小田 直弥 (教育学部)
必修/選択	必修
授業としての具体的到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○テクニックと体の使い方を身につけること ○楽曲の様式や構造等を理解し、表現すること ○伴奏を通して、アンサンブルの素地を身につけること
授業の概要	<p>練習曲を通してピアノの基礎的なテクニック (指の形、演奏時の姿勢、レガート、スタッカート等) を習得し、それをこの講義では、主にバッハを中心としたバロック作品の演奏研究へとつなげます。</p> <p>また、声楽曲や器楽曲の伴奏では、お互いの音を聴く、一緒に表現する、といったアンサンブルの素地を養います。</p>
備考	